

平成31年度
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14%削減する。

（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 平成31年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO ₂)	平成31年度 (トン-CO ₂)	増減量 (トン-CO ₂)	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	17,277	▲ 2,720	▲ 13.6	
	燃料消費	灯油	1,053	208	▲ 845	▲ 80.2
		ガソリン	3.4	2.4	▲ 1.0	▲ 28.5
		軽油	40	36	▲ 4	▲ 10.2
	購入電力	389	267	▲ 122	▲ 31.4	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 1,799	371	17.1	
	小計	19,312	15,991	▲ 3,321	▲ 17.2	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 13.6	
	自動車使用	0.0076	0.0072	▲ 0.0004	▲ 4.7	
	小計	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 13.5	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	627	▲ 99	▲ 13.6	
	自動車使用	0.18	0.15	▲ 0.03	▲ 15.1	
	小計	725	627	▲ 99	▲ 13.6	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.086	0	0.0	
	小計	0.086	0.086	0	0.0	
温室効果ガス排出量合計		20,039	16,619	▲ 3,420	▲ 17.1	

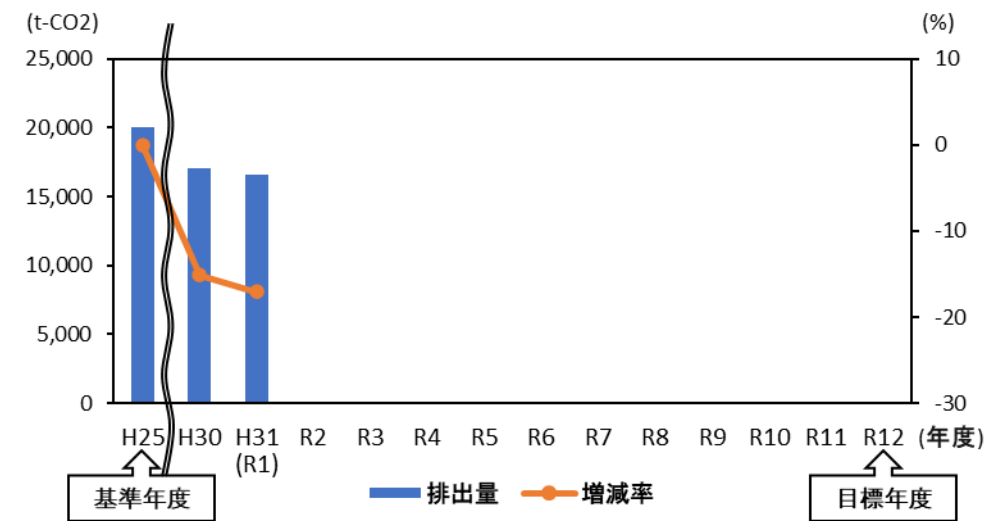


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

平成31年度における温室効果ガス総排出量は16,619トンで、基準年度の平成25年度と比較すると3,420トン減少し、増減率は17.1%減であった。

調査項目別では、電力の売却に伴う二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少した。(表1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図1)